

患者さんへ

「Stanford A 型急性大動脈解離で手術を受けた患者における

予後不良因子の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2013 年 4 月より 2023 年 6 月までに湘南鎌倉総合病院心臓血管外科で緊急手術を受けた Stanford A 型大動脈解離患者さん
2 研究目的・方法	当院では Stanford A 型急性大動脈解離の患者に対する緊急手術が多く行われています。年齢が 70 歳以上であることや脈拍欠損を認めることなどが予後不良因子として明らかとなっていますが、術前の乳酸値や D ダイマー、発症から手術までに要した時間など臨床的に重要で生命予後に関連する因子として未報告のものが存在します。 本研究では、診療録より患者背景・検査結果・術中所見を評価することで Stanford A 型急性大動脈解離における術後生命予後に関連する因子を調査します。 研究の期間：施設院長許可（2023 年 8 月予定）後～2025 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、病歴、手術・治療内容、来院時の血液検査データ・画像所見、重症度、予後等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 鎌口清満 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科・集中治療科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717